

日本の異常気象対策

◆9月の気象対策 # 雷



東京都心は8月1日から毎日雨を観測し、40年ぶりに雨が21日間続きました。そして8月19日には関東各地で落雷が相次ぎました。午後4時から6時の2時間で1000個の落雷が観測され雷やゲリラ豪雨の直撃もあり、予定されていた花火大会が中止になるなど、大きな影響がありました。

日本は7月から9月が雷の多くなる季節です。この時期は私たちの働く業界でも野外での業務が増える時期であり、避雷針の設置等、雷対策が積極的に行われています。改めて雷対策について確認しておきましょう。

覚えておきたい # 木陰や建物の軒下は危ない

落雷による死亡事故で一番多いのは「開けた平地での雷の直撃」2番目が「木の下や雨宿りでの落雷」です。この2つが全落雷事故死の半数以上を占めています。建物の軒先で雨宿りをするのは非常に危険です。建物に落雷してしまうと、雷の電気は外壁を伝って襲いかかってくるからです。また、木の陰での雨宿りも間接的に落雷する可能性があります。「ビル・高い物・木からは、できるだけ離れる」が原則です。

覚えておきたい # 雷しゃがみ

雷から避難するために推奨されている姿勢があること、ご存知ですか？



ここがポイント

- ①頭を下にかがめる（できるだけ姿勢を低くする）
- ②両手で耳をふさぐ
- ③足の両かかと同士を合わせる
- ④つま先で立つ（かかとを地面から浮かせる）

③&④が重要です！！

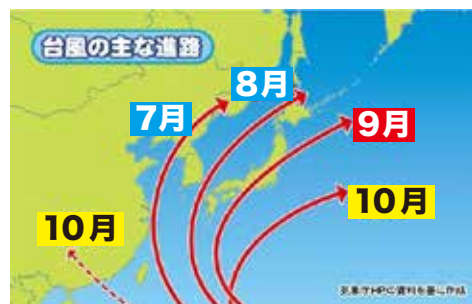
両足のかかとを合わせる（付ける）理由は、万が一、雷の電気が足から進入しても上半身まで流れないように、片足から反対側の片足へヒターンさせて流し返すためです。また、つま先で立つ理由は、地面との接点を可能な限り小さくして、電気の侵入を最小にするためです。

◆9月の気象対策 # 台風

もうひとつ、9月の気象で気をつけなければいけないのが台風です！日本は9月をピークに10月までが台風の多い季節と言われています。近年の統計でも8月より9月に台風が多く発生していることがわかります。台風の接近時や通過時に警戒するのは当たり前ですが、台風が通り過ぎた後も吹き返しの強い風が吹きます。天気予報をこまめにチェックし、9月の台風に十分注意してください！！

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間	
2016								4	7	7	4	3	1	26
2015	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27	
2014	2	1		2		2	5	1	5	2	1	2	23	
2013	1	1				4	3	6	7	7	2		31	
2012			1		1	4	4	5	3	5	1	1	25	
2011					2	3	4	3	7	1		1	21	

＜台風発生数の統計表＞



＜台風発生の進路図＞